



〈調布市教育委員会 基本方針〉

- 1 生命をいつくしみ、人の尊厳を重んじる心を育てる
- 2 「生きる力」を育て、個を伸ばす教育を充実する
- 3 学校・家庭・地域の役割と責任に基づいた連携を進める
- 4 安全で安心な調布の教育環境の整備を推進する
- 5 生涯にわたって自己実現を目指す機会を提供する



〈学校教育目標〉

- 自ら考え行動する生徒
- 思いやりのある心豊かな生徒
- 心身ともにたくましい生徒



〈今年度のスローガン〉 心理的安全性の高いさわやかな学校を目指して “自分らしく飾らずに”



豊かな心(徳)  
道徳性

①学校を心理的安全性が高く安心して自己表現できる場にし、生徒のやる気を引き出す。

(多様性を認め合い気兼ねなく自分らしさを出せる学級集団づくり、グループエンカウンター、考え議論する道徳、生徒が主体となって企画運営する学級活動・生徒会活動)

②自己と他者を大切にすることを育てる。

(いじめ防止対策委員会、生活アンケートの実施、スクールカウンセラーによる1年生全員面接、自殺防止＝SOSの授業、生命の安全教育＝性暴力防止啓発講座、いのちの授業、道徳授業地区公開講座)



確かな学力(知)  
問題発見・解決能力

①特別な支援を必要とする生徒を含む全ての生徒に「わかった」「できた」と実感させる授業を行う。

(主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、ユニバーサルデザイン授業の実践、スクールサポーターの活用、教員相互の授業参観やOJTチームによる若手育成の実施、生徒による授業アンケート7月と12月、ICTの効果的な活用)

②学ぶ意欲を向上させ、主体的に学習する態度を育成する。

(問題発見・解決を取り入れた授業づくり、朝読書を始めた読書に親しむ態度や習慣づくり、学習支援ボランティアを活用した土曜学習部等の取組)



健やかな体(体)  
健康・体力づくりに励む力

①自分の健康状態に関心をもたせ、健康を保持増進するための実践力を身に付けさせる。

(喫煙防止教室・がん教育・薬物乱用防止教室の実施、食物アレルギー事故や熱中症事故防止の意識啓発、給食を通じた食育の推進)

②より豊かで充実した生活を送るための成長・発達に必要な体力を高める意欲や習慣を育てる。

(体育祭、運動部活動、水泳教室、体力向上週間の取組＝昼休みのボール貸出の充実や放課後の20分間走)



特別支援教育や不登校支援の充実

①支援を必要とする生徒を含む全ての生徒が認め合い支え合える生徒集団を作る。

(インクルーシブ教育システムの構築、教員の特別支援教育に関する理解促進、校内通級教室と所属学級の連携、個別の指導計画を活用した個別支援、特別支援校内委員会の充実、特別支援コーディネーターを中心としたチームによる支援体制、生徒理解研修4月と9月)

②不登校生徒それぞれに寄り添い、個に応じた多様な社会的自立に向けて支援を行う。

(特別支援コーディネーターを中心とした的確な対応、担任と保護者の日頃からの関係づくり、スクールカウンセラーとの連携、生徒理解支援シートの活用)



小学校・保護者・地域との連携

①9年間の成長を見通した小中連携の取組を充実させる。

(小中連携の日＝小中教員による研修会5月と9月、小学生による中学校見学会、中学生による小学校への合唱発表)

②地域コーディネーターを中心とした、保護者・地域との協力体制を推進する。

(PTA活動、健全育成地区委員会やまちづくり協議会による地域行事、学習支援ボランティアを活用した土曜学習部・定期考査前自習教室・漢検や英検の実施、ホームページ「八中このごろ」や各種たよりの充実)

八中PTA／地域学校協働本部／健全育成団体／地区協議会

目指す教師像

- ・情熱と使命感をもつ教師
- ・豊かな人間性と思いやりのある教師
- ・生徒のよさややる気を引き出す教師
- ・生徒・家庭・地域に寄り添い共に歩む教師

\*心理的安全性とは

だれかに恥をかかせたり罰したりすることがなく、お互いを高めあえる関係をもってつながり合い、自分らしくいられる状態のこと。